

西谷会計

平成29年8月号



【所長の本棚より～女性活躍 最強の戦略～】

今回紹介するのは「女性活躍 最強の戦略」、著者は小室淑恵さん、2014年9月から安倍内閣で産業競争力会議の民間議員としても活躍しています。残業時間を削減して業績向上するためのコンサルティングを、これまでに900社以上行っているとか。我が国は今後、少子高齢化により深刻な労働力不足に直面することは周知のとおりです。そのため、女性の労働力を活用しようということで保育所の待機児童をなくそうとか、配偶者控除を拡充して女性の社会進出を促進しようという動きがあります。小室さんは、企業が女性を労働力として活用しようとするなら、まず社内の「長時間労働」を減らさなければならぬと述べています。

小室さん曰く、長時間労働になると体力勝負なので女性は男性に勝てません。会社が長時間労働を評価する限り、意欲のある女性が活躍できる余地はないのだそうです。典型的なのは、1960年代の高度成長期の時代です。この時代は、供給よりも需要が旺盛で、残業してモノを作れば作るだけ売れた時代でした。社長や上司に口答えをせずと言われたことを、ひたすら黙々とこなせる人材が必要でした。長時間労働することに価値がある時代でした。しかるに現在は、モノが余りどうやってモノを売るか、体力ではなく頭脳で勝負する時代です。頭脳労働は男女差がありません。それなのに、アウトプットではなくひたすらインプットの量を重視する環境、長時間労働しなければ評価されない環境では、育児などで時間的な制限のある女性には不利であり、終いにはやる気を失ってしまいというお話です。経営陣が率先して、強制的に例えば「19:00で仕事終了」の掛け声をかけないと残業はいつまでもなくなると指摘しています。

面白いと思ったのは 面白いと思ったのは かつては育児に時間を割くので敬遠されていた女性ですが、現在では介護を理由に会社を辞めたりフルタイム働けない男性が増えてきたということです。つまり、労働時間の制限は男女に共通した話だということです。長時間労働が当たり前の世代の男性で、これまでバリバリ働いてきた人の中には、自分自身がフルタイムで働けなくなったときに、喪失感やドロップアウト感を感じる人たちも多いそうです。これからは、男女を問わず育児や介護で時間に制限のあることを前提に職場をつくらなければならないという小室さんのお話は、大変興味深く思いました。



【今月の税務～ITを活用した「新サービスの開発」にも税額控除を適用！～】

本日は研究開発税制についてのお話です。元ネタは、弊社が毎月お客様に配布している、TKC事務所ニュース8月号からとなります。

○研究開発税制の改正

研究開発税制は、「製品の製造」や「技術の改良、考案、発明」のための試験研究費（人件費や委託費、経費など）がある場合に、その事業年度の法人額税から、試験研究費の額に税額控除割合を乗じて計算した金額を控除できる制度です。

これまでは、製造業による「モノ作り」や「技術の改良・発明等」を対象としていましたが、平成29年度税制改正では、IT等を活用した「新たなサービスの開発」まで対象が拡大されています。

「試験研究」は、工学的・自然科学的な基礎研究、応用研究及び開発・工業化等を意味します。必ずしも新製品や新技術に限りません。現に生産中の製品の製造や既存の技術の改良等のための試験研究も対象になります。

○試験研究費の範囲

- ①その試験研究を行うために要する原材料費、人件費（専門的知識をもってその試験研究の業務に専ら従事する者に係るものに限る）及び経費
- ②他者に試験研究を委託する場合の委託研究費
- ③技術研究組合に賦課される費用

○対象となるサービス開発のイメージ

具体的には、以下のようなサービスの開発が対象となりそうです。

(1)ドローンを使った自然災害予測

山地の地形や土砂、河川の画像データをドローンで収集し、降雨、降雪などの気象データと合わせて分析し、より精緻でリアルタイムな自然災害予測を通知するサービスなど。



(2)ウェアラブル端末によるヘルスケア

ウェアラブル端末を使って、個人の運動や睡眠状況、食事、体重、心拍等の健康データを分析することで、各個人に最適なフィットネスプランや食生活の推奨や、病院受診勧奨を行うサービスなど。

(3)データ分析による農家の支援

センサーを利用して農作物や土壌、農地の温度・湿度に関するデータと気象データを分析し、効果的な農作業のための情報を配信するサービスなど。



(4)精度の高い観光情報

ドローンや人工衛星等によって収集した画像や気象、生体系のデータ等を分析することで、高付加価値の観光資源だが発生頻度の低い自然現象等（例、ホエールウォッチング）の発生を精緻に予測するサービスなど。

【所長のつぶやき その1～お客様目線～】

とある会社を訪問した時のお話です。会社のスタッフが社長に対して「××さん、お先に失礼します」と言葉を発したのでびっくりしてしまいました。頃合いを見て社長にそれとなく聞いてみると、「業者さんの前では『社長』と呼びますが、普段は『××さん』と呼ばせています」とのこと。その理由を尋ねてみると納得です。

実はこちらの会社は介護系のサービスを提供しています。社長本人がスタッフと一緒に現場に出かける機会も多いのですが、スタッフが「社長」と呼ぶとお客様の方が身構えてしまうこともあるのだとか。そこで、社長であることをお客様が意識しないように「××さん」と呼ばせているのだそうです。

まさに「顧客目線」ですね。「お客様第一」と掛け声の大きな会社はたくさんありますが、実際にどこまで気を配っているのか、相手の立場に立って考えることの必要性を再確認しました。



【薬剤師 夏子の部屋 ～盛岡三大麺～】

急に真夏の様な暑さが到来してしまった青森市です。

窓を開けたり閉めたり、また開けたり、扇風機の角度変えたり忙しくしても「クーラーには敵わないな↓」とひとりごちてる夏子です、こんにちは。

先日、心ワクワクで気分上昇な用事のために盛岡市を訪れました。用事は夜だった為一泊二日の盛岡滞在です。その用事は大変久しぶりだったので、前日から興奮して胸とお腹が一杯でした。

用事の為に行くとは言っても、盛岡観光をする事もとても楽しみにして行きました。しかし当日はあいにくの雨模様でした。土砂降りでは無いものの、止んだかと思えば急に降り出すような感じで、予定していた観光はできそうにありませんでした。

メインの用事もあることですし今日は観光は置いて、もう一つのイベント「食事」を楽しむことにしました。予定を立てることが大好きな主人が、今回も一分一秒を無駄に出来ない綿密なスケジュールを立ててくれていましたが仕方ありません。お天気のせいですから。私が興奮と緊張でイマイチ元気がなかったせいではありませんから。

今回の旅の「食事」、盛岡ときたらやはり「麺」です。

「わんこそば」「盛岡冷麺」「盛岡じゃじゃ麺」これらが盛岡三大麺と言われて近年ブームを巻き起こしています。

絶大なる信頼を置いている愛読書の「るるぶ」によって、ここが一番！というお店をリサーチ済みの主人です。

雨の中まずは駅前のぴよんぴよん舎で冷麺です。主人の計画通り一番乗りで店に入ります。その後すぐに混んできて満席になってしまいました。スタンダードな冷麺を頂きました。すごいコシのある麺です。爽やかな味ですぐに平らげてしまいました。緊張で胸とお腹が一杯だったのに不思議だな～。

翌日はホテルの朝ごはんをお腹いっぱい食べたので、今日はわんこそばは無理だわと思っていた私ですが、主人の計画どおり創業明治四十年老舗の東家で70杯も頂いてしまいました。給仕のお姉さんに「とっても上手だから100杯食べられそうね。」と押されましたが自重してお椀に蓋をしました。お蕎麦はするすると美味しかったです。雰囲気もとても楽しかったな。

最後は白龍でじゃじゃ麺です。これはとても無理かと思いましたが入り口でメニューを見るとサイズが小中大特大と選べる様になっていたの、小に挑戦することになりました。独特な見た目ですが生姜を効かせるとこれまた爽やかな味になります。

お店の方にちいたんたん(卵スープ)の作り方など丁寧に教えてもらって次も又来てねと優しくされて、とても嬉しかったです。

肝心の用事は最高に楽しく素晴らしく、熱かった！！

エレファントカシマシ 30周年アニバーサリーツアー THE FIGHTING MAN 盛岡公演

久しぶりにみる生宮本さん、石君、トミ、成ちゃん、真剣だった。そんなにサービスしなくても良いから長く続けて欲しい、身体を大事にして下さい、としみじみ願いました。

【所長のつぶやき その2 ～一番バカくさいのは誰～】

業歴の長い会社だと決算書に計上されている資産や負債の他にも、形のない財産があります。その中にはブランドだったり従業員のやる気だったりと会社の競争力を高めるものがある一方で、しがらみだったり昔からの付き合いだったりと会社の発展の足を引っ張ったり、場合によっては会社の存続を危うくする時限爆弾のようなものすらあります。

社長としてはそのような事象を上手に扱わないといけませんが、社長以外の人からすれば「ああすればいいのに」「こうすればいいのに」と見えるかもしれません。でも、一番バカ臭い思いをしてまで我慢しているのは社長本人です。従業員に愚痴を垂れても仕方ありませんから、グッと胸の中にしまい込むわけです。

社長業はホント大変です。



安心がここにある。
西谷俊広 税理士事務所

〒030-0821 青森市勝田二丁目6-18

TEL:017-774-2315 FAX:017-774-1765

西谷会計 青森市 検索